

対象クラス	第3学年 全科	単位数	2
使用教科書	現代社会(東京書籍)		
使用副教材	最新図説現社(浜島書店)		

「現代社会」はこんな科目です。

「現代社会」は、社会で起きている様々な問題について政治や経済分野を中心に学習し、その原因や解決策について学ぶ科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)

現代社会の諸問題について、社会のしくみについての知識を深めながら、その原因や解決策を主体的に考える力を身に付けます。さらに、自らの考えをまとめ、表現する力を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	社会の諸問題に関心を持ち、積極的な姿勢で授業に参加することができるか。毎日のニュースに関心をもつことができるか。	・定期考査 ・授業中の態度
思考・判断・表現	社会の一員としての自覚をもち、諸問題について公正に判断する力をもつことができるか。 諸問題に対する自らの意見を、論理的に構成し表現することができるか。	・定期考査 ・授業中の態度
資料活用の技能	グラフやデータを読み取り、活用できるか。	・授業中の態度
知識・理解	政治・経済分野の諸事象について基本的な知識を身に付け、内容を把握することができるか。	・定期考査 ・授業中の発言

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	私たちの生きる社会  【前期中間考査】	・地球環境と資源・エネルギー  ・科学技術の発達と生命  ・情報化の進展と生活	・人間のさまざまな活動が自然環境への負担を増大させ、地球環境の汚染や破壊が問題となっていることを考える。 ・一次エネルギーは無限ではないことを理解し、将来のエネルギーをどのように確保するかについて考えを深める。 ・先端医療技術の発達が私たちにおよぼす影響を理解し、その問題点を考える。 ・メディアの発達が私たちの生活を大きく変えていく可能性があることについて考える。
前 期 期 末	青年期と自己形成の課題  【前期期末考査】	・現代社会と青年の生き方  ・よりよく生きることを求めて	・青年期の発達課題である「自分らしさ」の獲得について、アイデンティティやパーソナリティの観点から、自己の課題について考えを深める。 ・人間にとってよく生きることが大切であり、そこに人間らしさがあることを理解する。
後 期 中 間	日本国憲法と民主政治  【後期中間考査】	・民主政治とは  ・日本国憲法の基本原理  ・日本の政治機構	・民主主義を基本原理とする現代の政治体制は、欧米の市民革命を通じて確立されたことを理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の内容を比較しながら、成立過程を明らかにし、それらの特徴を身に付ける。 ・三権分立の意義と国会・内閣・裁判所の機能を理解する。

<p>学 年 末</p>	<p>現代の経済と国民福祉</p> <p>【学年末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のしくみ</li> <li>・変化する日本経済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の経済システムである資本主義経済が、「産業革命」とよばれる技術革新を契機として、歴史的に形成されてきたことを理解する。</li> <li>・戦後の日本経済の発展は、国民の努力と経済民主化政策や経済復興政策によってもたらされたことを理解する。</li> </ul>
----------------------	----------------------------------	--	---